

1 社会・治安情勢

(1) カラチ市内では本年7月、8月にTTP等過激派武装集団が警察等の治安機関、軍関係者、議員や政党関係者等を狙った爆弾テロや標的殺人を敢行し、多数の死傷者が出た。また、リヤリ地区ではギャング組織の抗争事件が激化し、リヤリ地区の一般人がシンド州内陸部に疎開するという事態となった。9月になりカラチ市内の治安悪化を重く見た連邦政府はレンジャー及び警察にテロリスト、標的殺人犯、誘拐犯、恐喝犯を一掃するよう州政府に命じ、これにより警察等は1ヶ月間で逮捕者約6,000人、勾留者約2,000人(うちテロ関与者約40人)、押収武器約2,400個という成果を上げた。また、同掃討作戦により毎月200人以上だったカラチ市内の殺人被害者数が139人に減少した。この掃討作戦は10月以降も継続され、カラチ市内の治安改善が期待される。

(2) バロチスタン州では7～9月中、バロチスタン解放軍等の過激派武装集団による爆弾テロや標的殺人が多発した。爆弾テロも、例えば、警察官を殺害しておき、その葬儀に集まった警察高官を狙って爆弾テロを敢行し治安関係者を多数殺害するなど巧妙かつ残虐性の高いものが発生した。さらに、同州アワランでは9月24日、マグニチュード7.7の大地震が発生し、多くの死傷者が出たが、救援活動を行う政府関係機関等に対して過激派武装集団がテロ攻撃を敢行しており、人道的活動までも攻撃対象になるほど治安悪化に歯止めが効かない状態である。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) シンド州警察が発表した本年7月～9月の犯罪統計によれば、カラチ市における犯罪総件数は12,235件と前年を約1,300件上回るペースで発生しており、全体的には依然として治安が好転していないと言える。犯罪種別は以下のとおり。

- ・ 殺人 578件
- ・ 身代金目的誘拐 38件
- ・ 暴動 215件
- ・ 侵入強盗 144件
- ・ 自動車目的強盗 124件
- ・ 武器不法所持 2,146件
- ・ 交通死亡事故 134件

ただし、9月から始まった掃討作戦により殺人事件数は減少しており、犯罪全体の増加に反してカラチ市内の体感治安を向上させている。

(2) 邦人被害事案

8月上旬にカラチ市ディフェンス地区において、自家用車に乗った邦人女性がけん銃強盗未遂の被害に遭った。また、9月上旬には同市コランギ地区において、自家用車に乗った邦人男性が渋滞停車中、オートバイに二人乗りした男らからけん銃で脅され、携帯電話やパソコンを強奪されるという被害に遭った。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 7月10日、カラチ市ジャムシェッド地区において、ザルダリ大統領(当時)の警護担当官が自爆テロの被害に遭い、同担当官ら3人が死亡、警察官ら11人が負傷した。

(2) 7月11日、バロチスタン州チャマンにあるアフガニスタンとの国境検問所において、爆弾テロが発生し、民間人2人が死亡、治安要員8人が負傷した。

(3) 7月20日、カラチ市グルシャネ・イクバルにおいて、市行政官を狙った爆弾が爆発し、警護員1人が死亡、関係者らが負傷した。

(4) 7月25日、シンド州サッカルにおいて、情報機関や治安部隊に対する攻撃があり、自爆テロと銃撃により3人が死亡、40人以上が負傷した。

(5) 8月5日、バロチスタン州クエッタ近郊において、バスの車列5台が警察官に扮装した武装集団に停車させられ、乗客のうちパンジャブ人13人だけが拉致された。翌日、近くの渓谷で13人の遺体が一列に並んだ状態で発見された。

(6) 8月7日、カラチ市リヤリ地区のサッカー場付近において、州議会議員を狙ったと思われる爆弾テロが発生し、子どもを含む11人が死亡、26人以上が負傷した。議員は現場を離れており無事であった。

(7) 8月8日、バロチスタン州クエッタ市において、射殺された警察官の葬儀中、自爆テロが発生し、葬儀に参列していた警察高官5名を含む少なくとも30人が死亡、62人が負傷した。

(8) 8月9日、バロチスタン州クエッタにおいて、モスクでの礼拝を終えた人々のそばを通り過ぎる州政府高官の車に向け武装集団が発砲し、9人が死亡、27人以上が負傷した。

(9) 8月13日、カラチ市内のシーア派モスク2カ所に連続して手りゅう弾が投げ込まれ、計2人が死亡、30人以上が負傷した。

(10) 8月16日、バロチスタン州ドサンにおいて、走行中の列車に向けロケット弾1発が撃ち込まれ、乗客2人が死亡、19人以上が負傷した。

(11) 8月21日、バロチスタン州チャマンにおいて、鉄道駅が爆破され、少なくとも2人以上が死亡、10人以上が負傷した。

(12) 8月22日、カラチ市コランギにおいて、移動中のパキスタン陸軍の輸送車が爆弾テロの攻撃を受けて大破した。爆発により兵士1人と一般人1人が死亡、兵士11人を含む18人以上が負傷した。

(13) 9月13日、バロチスタン州ソラブにおいて、NATO軍の石油輸送車の車列に向けてロケット弾が撃ち込まれ、トラック9台が炎上し、運転手1人が死亡した。

(14) 9月19日、カラチ市ランディ地区において、シーア派モスクに手りゅう弾が投げ込まれ、爆発により少なくとも3人が死亡、15人が負傷した。

(15) 9月20日、バロチスタン州シビにおいて、治安部隊の車列を狙った爆発があり、隊員5人以上が負傷した。

(16) 9月23日、バロチスタン州クエッタにおいて、パトロール中の警察車両に対する爆弾テロが発生し、警察官3人を含む4人が死亡した。

(17) 9月26日、バロチスタン州アワランにおいて、地震の被災地上空を飛行する政府のヘリコプターに対して、ロケット弾が発射されたが命中しなかった。

(18) 9月27日、同州アワランにおいて、震災地で救援活動中の治安部隊が武装集団から発砲を受けたが、死傷者は出なかった。

(19) 9月28日、同州アワランにおいて、軍に護衛された震災援助隊の車列が攻撃を受

け、兵士4人が死亡した。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

シンド州警察が発表した7月～9月の犯罪統計によれば、カラチ市内における身代金目的誘拐は38件、身代金目的以外誘拐・略取は430件、児童誘拐は25件発生している。なお、期間中、邦人が被害者となる誘拐事件は発生していないものの、7月中旬にカラチ市からシンド州ハイデラバードへオートバイで移動していたパレスチナ系ヨルダン人男性（大学生）が身代金目的誘拐の被害に遭うという外国人対象の誘拐事件が発生していることから、当地で生活するうえで、誘拐犯などの犯罪者に隙を与えない日常行動が重要である。

5 日本企業の安全に関する諸問題

(1) カラチ市への出張者に対するけん銃強盗事件が発生したので、各企業毎にこれまでの安全管理を再度検証いただき、出張者に対する適切な安全対策（警備員の帯同、危険とされている地区の通行を避ける等）を施していただくようお願いしたい。

(2) 8月には、カラチ市内と含むパキスタン全土において降雨による水害が発生した。また9月には、バロチスタン州で強い地震が発生し、非常に多くの死傷者や行方不明者が出ているところ、当地政府機関等は未だ自然災害への対応力が脆弱であることから、各企業毎に自然災害に対する危機管理をご一考願いたい。